

# 『岡本太郎美術館』

2023. 7. 15  
美幌町図書館長 竹花 史康

川崎市にある、『岡本太郎美術館』に行ってきました。行きたいと思ってから20年、ようやくそのことが叶いました。

私が初めて見た岡本太郎の作品は、あの有名な「太陽の塔」です。それは、1970年に行われた万国博覧会のシンボルであり、世界が「あっ」と驚かされた、巨大で誰も見たことのない塔でした。50年以上前に見たのにもかかわらず、その時の衝撃は今も私のなかに残ったままです。

美術館に着くと、そこで待ち受けていたのは、これもまた巨大なシンボルタワー、『母の塔』でした。高さ30mもあるその塔は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかであふくよかな母のやさしさ」、「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をイメージした岡本太郎の意図を忠実に再現されたものです。

太郎の母、かの子は川崎市出身の文学者であり、また、太郎も母の実家で誕生したことから、川崎市に『岡本太郎美術館』が建てられたようです。

ワクワクしながら入館してみると、大変嬉しいことに、展示されている太郎の作品は写真撮影が自由でした。ぜひ、皆さんにもご覧にいただきたいのですが、ホームページに載せるのは残念ながらダメみたいです。

それで、シンボルタワーだけですが写真を載せました。素人の写真なので、その迫力が伝わらないかもしれませんが、とにかくすごい塔でした。

岡本太郎が好きな方はもちろんのこと、そうでない人にも楽しめる美術館だと思います。



中央にシンボルタワー  
右に美術館



『母の塔』の前で